

MARU PAPERS

vol. 3

1998. 10. 21 発行

工房まる

〒815-0074 福岡市南区寺塚2丁目29-8

tel/fax 092-562-8684

E-MAIL kmrk103@pluto.dti.ne.jp



▲日本財団のコマーシャルでおなじみの車

リフト車 ありがとうございます ございます

2月20日、みんなの期待を一身にあびたリフト車が納車されました。この車は日本財団の福祉車両寄贈の募集をみて申請していたもので、決定通知が来た時の喜びといったら、そりゃーもう感激の一言。

私自身にとっても新車は初めて。ドキドキしながら説明を聞き、試走をしました。しかし、1週間後には駐車場のとてに後部をぶつけてマフラーを曲げてしまっはめに……。車体にはキ

ズがつかなかったものの私は落ち込んでしまいました。このリフト車の導入により車椅子のままでも楽に乗り降りできるようになり、メンバーにとっても職員にとっても本当にありがたいことです。また送迎コースを二手に分け完全送迎もできるようにまりました。

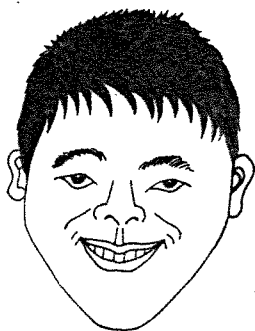
私の非常に汚い字の申請書にもかかわらず選んで下さった日本財団の方々、本当にありがとうございます。皆様が嘆き悲しむような変わり果てた姿にならないよう気合い入れて大切に運転していきます。安全運転！（よしだ）

民謡 有田会 チャリティー コンサート

4月26日、南市民会館にて民謡有田会のチャリティーコンサートがありました。2月ぐらいに近所に住まわれている有田さんからお誘いを受け、職員2名、メンバー2名で参加させていただきました。有田さんの生徒さんたちが三味線などで一生懸命演奏されている中、私たちは民謡とまったく関係がないキーボード、コンガ、ギターを抱え演奏した曲は「上を向いて歩こ

う」「いい日旅立ち」の2曲。会場のみなさんの手拍子の鳴る中、安達君の歌もなかなかなもの。山野井君のパフオーマンスも会場の心をキャッチして無事終了することができました。

またチャリティーコンサートということで民謡有田会より支援金、会場の皆様からの募金をいただきました。皆様のご支援、心より感謝申し上げます。



vol. 3

板谷 幸一郎 (18)
ITAYA KOUICHIROU

ほくは、板谷幸一郎です。ことしの4がつかからはいってきまして。パソコンでえをかいたり、木をみがくのがうまくなるようにがんばりたいし、いっぱいともだちもつくりたいとおもいます。まだ、わからないところがありますが、よろしくおねがいします。

授与式のとき司会の方から「日頃、何が一番お困りですか？」と聞かれ、思わず「やっぱり資金不足のことですね……」本当の事とはいえず、支援金の入ったのし袋を片手に、そんなあからさまに言っちゃいけませんよね。すみませぬ。（よしだ）

「りゅう」で いいんです。

皆様初めまして。7月27日より工房「まる」みんなと一緒に働いています樋口龍一です。みんなからは「りゅうさん」と呼ばれて冗責気分です仕事をやっています。最初は戸惑いが多少はあると思いましたが、すんなり溶け込めて、初めから自分をさらけ出して今に至っています。小さな所ですけど、毎日新しい発見や、面白いアイデアが飛び交って、笑って、悩んで、学んでという感じです。自己紹介はここまでにして、『まるのりゅうさん』というところで今後ともよろしくお願致します。

